

## ツーリズム EXPO ジャパン誘致・開催支援業務委託仕様書

### 1 目的

本県では、国内最大級の旅行博である「ツーリズム EXPO ジャパン」の2025年における本県開催の実現に向けて誘致活動を進めている。本県での開催を決定付け、開催に向けた準備を進めるため、誘致・開催準備業務を行う。

#### 《ツーリズム EXPO ジャパンの概要》

日 程：毎年秋頃（4日間）

主 催：日本旅行業協会(JATA)、日本観光振興協会、日本政府観光局(JNTO)

開催内容：展示商談会、フォーラム、セミナー等

開催実績：以下のとおり（予定を含む）

回	開催年	開催地（会場）		出展者数		来場者数
				国・地域	企業・団体	
1	2014	東京	東京ビッグサイト	151	1,129	157,589人
2	2015		同上	141	1,161	173,602人
3	2016		同上	140	1,181	185,844人
4	2017		同上	130	1,310	191,577人
5	2018		同上	136	1,441	207,352人
6	2019	大阪	インテックス大阪	100	1,475	151,099人
7	2020	沖縄	沖縄コンベンションセンター他	30	285	24,174人
8	2021	大阪	インテックス大阪	開催中止		—
9	2022	東京	東京ビッグサイト	78	1,018	124,074人
10	2023	大阪	インテックス大阪	70	1,275	148,062人
11	2024	東京	東京ビッグサイト	開催予定		
12	2025	愛知	Aichi Sky Expo	誘致活動中		

## 2 業務内容

「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸（仮称）」（以下「本催事」という。）の開催実現に向けて必要となる、①出展の実施計画策定、②魅力発信の実施計画策定、③来場者輸送の実施計画策定、④地元支援組織体による会議の運営、といった誘致・開催準備業務全般の支援を行う。

### 《ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸（仮称）の概要〔想定〕》

日 程 2025年9月頃の4日間（木曜日から日曜日まで）

会 場 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」（愛知県常滑市）  
全ホール（展示ホールA～F）、全会議室（全18室）

来場者数 約11万人

※中部北陸：9県（愛知、富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、三重、滋賀）

### （1）出展の実施計画策定

#### ア 共同出展

- ・ 本県を始め中部北陸9県の魅力を、国内外からの来場者へ大々的にPRするため、共同出展を検討している。
- ・ 共同出展のテーマ案については、以下のとおり。

#### ＜テーマ（案）＞

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| ✓ 昇龍道                    | ✓ ものづくり（伝統工芸や実演）     |
| ✓ 日本酒                    | ✓ アドベンチャー            |
| ✓ 温泉                     | ✓ サブカル               |
| ✓ 歴史（サムライ・忍者・城）          | ✓ 祭り                 |
| ✓ スポーツ                   | ✓ 自然・アウトドア（キャンプ・登山等） |
| ✓ 絶景                     | ✓ 世界遺産・日本遺産          |
| ✓ ノスタルジック                | ✓ 産業観光               |
| ✓ テーマパーク                 | ✓ 宿                  |
| ✓ 乗り物（鉄道、船、バス、飛行機、車、自転車） |                      |

#### イ 実施計画

- ・ 別途、本県が各県に対して照会した上記のテーマ案への関心有無等を踏まえ、テーマごとに、ブースデザインの企画、仕様の構築、費用の算出等を行うとともに、出展者の募集方法・募集スケジュール等を策定すること。
- ・ 共同出展ブース数は合計30～40小間程度を想定して作成すること。
- ・ 本県を始め、県内の市町村・関係団体・企業等の出展内容を把握して重ならないように努める等、トータルコーディネートを行うこと。
- ・ あわせて、ご当地飲食ブースを設け、来場者に対し、地域の食をPRすることを検討しているため、効果的な飲食ブース（10小間程度想定）を選定し、企画、仕様の構築、費用算出等を行うとともに、出展者の募集方法・募集スケジュール等を策定すること。
- ・ 出展の実施計画は、7月末日を目途に策定すること。

## (2) 魅力発信の実施計画策定

### ア ウェルカムレセプション

- ・ 本催事の公式行事であるウェルカムレセプションの機会を活用し、本県を始め中部北陸9県の魅力が発信できるアトラクションの実施、飲食ブースの出展を検討している。

#### <補足：ウェルカムレセプション>

- ・ 本催事の主催・出展団体や、併催イベントである「VISIT JAPAN トラベル& MICE マート」のバイヤー等が一堂に会するレセプション。
- ・ 例年、会期初日の展示会終了後から1時間半程度で開催されている。
- ・ 主催者は、本催事的主催団体であり、本県の役割はおもてなし対応となる。

### (ア) アトラクション

- ・ ウェルカムレセプションの機会を活用し、地域の PR に効果的なアトラクションの実施を検討するため、以下のアトラクション案も踏まえ、ウェルカムレセプションに適したアトラクションを3件程度選定し、実施に向けて各先との諸調整を行うこと。

#### <アトラクション (案) >

- ✓ にっぽんど真ん中祭り出演チームによる演舞
- ✓ 地元高等学校による和太鼓部等の演奏
- ✓ 中部北陸9県の武将隊パフォーマンス
- ✓ 中部北陸9県のゆるキャラによる PR
- ✓ SKE48 によるトークショー

### (イ) 飲食ブース

- ・ ウェルカムレセプションの会場内で地域の名物などを提供し、食の PR を図ることを検討するため、以下の飲食案も踏まえ、会場の仕様に適した飲食を5件程度選定し、主催者との調整を図りながら、実施に向けて各先との諸調整を行うこと。

#### <飲食 (案) >

- |            |           |            |
|------------|-----------|------------|
| ✓ ひつまぶし    | ✓ 手羽先唐揚げ  | ✓ へきなん焼きそば |
| ✓ 味噌煮込みうどん | ✓ 台湾ラーメン  | ✓ 岡崎カレーパン  |
| ✓ きしめん     | ✓ ガマゴリうどん | ✓ 高浜とりめし   |
| ✓ 味噌おでん    |           |            |

### イ ステージイベント

- ・ 展示会場内に設けられるステージを活用し、地域 PR に効果的なアトラクションの実施を検討するため、以下のアトラクション案も踏まえ、ステージイベントに適したアトラクションを3件程度選定し、実施に向けて各先との諸調整を行うこと。

#### <アトラクション (案) >

- ✓ サムライ・ニンジャミニステージ
- ✓ アニメ・コスプレの著名人によるトークショー
- ✓ 花の王国あいち PR (フラワーアレンジメントパフォーマンス)

- ✓ 愛知県ゆかりのタレントの登壇
- ✓ 愛知万博 20 周年記念&ジブリパーク PR
- ✓ アジア・アジアパラ競技大会 PR
- ✓ ゆるキャラミニステージ

## ウ 実施計画

- ・ 各企画の実施に向けた準備、会場との調整、その他必要な業務を行うとともに、アトラクション出演者の出演料、必要備品、会場使用料など、必要経費を算定すること。
- ・ 仕様書記載の案以外に、より良いアトラクションや飲食ブースがある場合は、新たに提案することを妨げない。
- ・ ウェルカムレセプションの会場は、過去開催事例を参考に開催規模や会場を想定するほか、適宜主催団体から情報収集を図ること。
- ・ 中部北陸エリアにおけるステージの仕様は、過去開催事例を参考に想定するほか、適宜主催団体から情報収集を図ること。
- ・ あわせて、ツーリズム EXPO ジャパンの開催による経済波及効果を最大限に享受したい企業・団体と、協賛を募りイベントを盛大に開催したい主催団体とのマッチングを支援するため、地域の広報活動に前向きな企業・団体をリストアップすること。

## (3) 来場者輸送の実施計画策定

### ア 前提条件

#### (ア) 来場人数規模

	午前		午後	合計
	8:30-10:00	9:30-11:00	11:00-	
1 日目 (業界日)	出展者 約 6,500 人	業界来場者 約 6,500 人	業界来場者 約 3,500 人	約 16,500 人
2 日目 (業界日)	出展者 約 6,500 人	業界来場者 約 8,000 人	業界来場者 約 4,000 人	約 18,500 人
3 日目 (一般日)	出展者 約 6,500 人	一般来場者 約 20,000 人	一般来場者 約 10,000 人	約 36,500 人
4 日目 (一般日)	出展者 約 6,500 人	一般来場者 約 20,000 人	一般来場者 約 8,000 人	約 34,500 人
			総来場者数	約 106,000 人

#### (イ) 輸送手段分担率

来場者手段	出展者	業界来場者	一般来場者
自動車	47%	50%	50%
自動車以外	53%	50%	50%

### (ウ) 宿泊出展者数

宿泊地	人数
空港島内	1,200 人
常滑市内	200 人

## イ 基礎調査結果

### (ア) 出展者の想定来場者数及び想定来場手段

#### 1・3 日目

時間帯	割合	人数	想定来場手段	
			自動車 47%	自動車以外 53%
8:00~9:00	60%	3,900 人	1,833 人	2,067 人
9:00~10:00	40%	2,600 人	1,222 人	1,378 人
合計	100%	6,500 人	3,055 人	3,445 人

#### 2・4 日目

時間帯	割合	人数	想定来場手段	
			自動車 47%	自動車以外 53%
8:00~9:00	40%	2,600 人	1,222 人	1,378 人
9:00~10:00	60%	3,900 人	1,833 人	2,067 人
合計	100%	6,500 人	3,055 人	3,445 人

### (イ) 業界・一般来場者の想定来場者数及び想定来場手段

輸送比率		二輪車	自動車	団体バス	電車	合計
		0.1%	50%	1.3%	48.6%	100%
1 日目	約 10,000 人	10 人	5,000 人	130 人	4,860 人	10,000 人
2 日目	約 12,000 人	12 人	6,000 人	156 人	5,832 人	12,000 人
3 日目	約 30,000 人	30 人	15,000 人	390 人	14,580 人	30,000 人
4 日目	約 28,000 人	28 人	14,000 人	364 人	13,608 人	28,000 人
合計	約 80,000 人	80 人	40,000 人	1,040 人	38,880 人	80,000 人

## ウ アクセス対策

- ・ 前提条件を踏まえ基礎調査を実施した結果、自動車・電車等における輸送力不足を解消するためには、以下のとおりシャトルバス運行の必要がある。

運行日 : 会期中全日

乗車場所 : 名古屋駅太閤通口バスバース

降車場所 : Aichi Sky Expo

乗車賃 : 有料 (金額未定)

運行者 : 未定

運行時間等 : 以下のとおり

### 1日目（木）

出発	到着	運行台数	運行間隔
6:30～6:50	7:30～7:50	12台	10分間隔で4台ずつ運行
7:00～7:50	8:00～8:50	24台	10分間隔で4台ずつ運行
8:00～8:50	9:00～9:50	24台	10分間隔で4台ずつ運行
バス台数		約60台	

### 2日目（金）

出発	到着	運行台数	運行間隔
7:00～7:50	8:00～8:50	24台	10分間隔で4台ずつ運行
8:00～8:45	9:00～9:45	16台	15分間隔で4台ずつ運行
バス台数		約40台	

### 3日目（土）

出発	到着	運行台数	運行間隔
7:00～7:45	8:00～8:45	8台	15分間隔で2台ずつ運行
8:00～8:45	9:00～9:45	4台	15分間隔で1台ずつ運行
9:00～9:50	10:00～10:50	18台	10分間隔で3台ずつ運行
バス台数		約30台	

### 4日目（日）

出発	到着	運行台数	運行間隔
8:10～9:00	9:10～10:00	20台	10分間隔で4台ずつ運行
9:00～9:50	10:00～10:50	20台	10分間隔で4台ずつ運行
バス台数		約40台	

## エ 実施計画

- ・ 本催事の開催にあたっては、国内外から訪れる出展者、業界来場者、一般来場者を安全かつ円滑に輸送する必要がある。輸送に関する前提条件と基礎調査結果を踏まえ、催事開催に向けた来場者輸送の実施計画を策定すること。
- ・ 上記シャトルバスの運行計画を再検証するとともに、必要車両数やバース数を見直したパターンを作成すること。
- ・ シャトルバスの運行に向けて仮予約を行う等して、必要車両数を確保し、時刻表の作成を行うこと。
- ・ 名古屋駅太閤通口バスバースの使用にあたっては、本県と相談のうえ、管理者との調整を行うこと。
- ・ 乗車賃の適正価格を検証し、チケット購入方法も合わせて計画すること。
- ・ JR 名古屋駅構内にシャトルバス乗り場への誘導員を配置し、鉄道からシャトルバスへの円滑な乗換が行えるよう関係者と調整するとともに、誘導人員の手配も行うこと。

- ・ あわせて、新幹線から名古屋鉄道線へも円滑な乗換が行えるよう関係者と調整するとともに、誘導人員の手配も行うこと。
- ・ 主催者の公式 HP を通じて利用者へ案内することを検討しているため、HP に掲載すべき情報を整理し、主催者と調整を図ること。
- ・ 本業務で作成した資料を用いて、関係者と協議することに留意し策定すること。

#### (4) 地元支援組織体による会議の運営

- ・ 地元支援組織体が開催する以下の会議について運営業務を行うこと。

##### <会議①>

日 時：2024 年 7 月中旬（1 時間程度）  
 会 場：JP TOWER NAGOYA ホール  
 （名古屋市中村区名駅一丁目 1 番 1 号 KITTE 名古屋 3 階）  
 人 数：現地 100 名程度、WEB30 名程度  
 形 式：ハイブリッド形式（現地、WEB 併用）

※会議①に付随して、懇談会を開催する。

（ 日 時：会議①に繋げて開催（会議①の前 30 分程度）  
 会 場：JP TOWER NAGOYA カンファレンスルーム  
 人 数：現地 20 名程度 ）

##### ア 会場手配

- ・ 会場は、本県において仮予約している。

##### イ 機材配置計画、WEB 配信計画、設営・撤去計画の策定

- ・ 100 名程度（懇談会は 30 名程度）の現地参加を想定した計画を立案すること。
- ・ 原則午後 1 時から午後 5 時の間に設営・撤去を実施・完了させること。

##### ウ 映像機材及び配信機材の手配（会議①のみ）

- ・ 発言者を撮影するためのカメラを手配すること。
- ・ 配信に必要なパソコン、ポケット Wi-Fi 等を手配すること。
- ・ その他ハイブリッド開催に必要な機材等を手配すること。

##### エ 進行のディレクション及びカメラの撮影（会議①のみ）

- ・ ビデオメッセージや資料の映像差し込み、カメラ撮影等を行うこと。

##### オ WEB 配信のオペレーション（会議①のみ）

- ・ WEB 配信のためのアカウント開設を行うこと（WEB 参加 30 名程度）。
- ・ WEB 配信のオペレーションを実施すること。

##### カ サービス

- ・ 参加者に対し、呈茶サービスを行うこと。
- ・ 駐車券を事前手配し、必要とする参加者に配付すること。

## キ 支払

- ・ 会場代及び関連費用を、本業務から支払うこと。

### <会議②>

日 時：2025年2月頃を想定（1時間程度）  
会 場：Aichi Sky Expo 会議室（予定）  
人 数：現地100名程度、WEB30名程度  
形 式：ハイブリッド形式（現地、WEB併用）

## ア 会場手配

- ・ Aichi Sky Expo の会議室を手配すること。

## イ 機材配置計画、WEB 配信計画、設営・撤去計画の策定

- ・ 100名程度の現地参加を想定した計画を立案すること。
- ・ 会議の開催時間に合わせて、適切な時間で設営・撤去を実施・完了させること。

## ウ 映像機材及び配信機材の手配

- ・ 発言者を撮影するためのカメラを手配すること。
- ・ 配信に必要なパソコン、ポケット Wi-Fi 等を手配すること。
- ・ その他ハイブリッド開催に必要な機材等を手配すること。

## エ 進行のディレクション及びカメラの撮影

- ・ ビデオメッセージや資料の映像差し込み、カメラ撮影等を行うこと。

## オ WEB 配信のオペレーション

- ・ WEB 配信のためのアカウント開設を行うこと（WEB 参加 30 名程度）。
- ・ WEB 配信のオペレーションを実施すること。

## カ その他

- ・ 参加者に対し、呈茶サービスを行うこと。
- ・ 駐車券の認証対応を行うこと。

## キ 支払

- ・ 会場代は、本県から会場へ直接支払う予定であるが、その他関連費用を本業務から支払うこと。

## (5) その他

- ・ (1)～(4)以外に、ツーリズム EXPO ジャパンの本県開催の実現に向けた誘致・開催準備業務全般の支援を行うこと。

### 3 成果物の提出

#### (1) 成果物

- ア 中間報告書
- イ 実施結果報告書

#### (2) 納品媒体

- ・ 日本産業規格A4版で2部作成すること。あわせて、当該報告書の電子データを提出すること。
- ※ 電子データは、Microsoft Word、Microsoft Excel 又はMicrosoft PowerPointで作成し、同形式で提出すること。

#### (3) 納品場所

- ・ 観光コンベンション局国際観光コンベンション課イベント・コンベンショングループ

#### (4) 納品期限

- ア 2024年7月31日(水)
  - ※ 業務の状況に応じて、受託者と協議の上、提出期限を変更する可能性がある。
- イ 2025年3月21日(金)

### 4 留意事項

- ・ 業務内容については、本仕様書及び企画提案書によること。
- ・ 本業務は、企画競争型随意契約であるため、企画提案の内容を遵守し、進捗状況、今後の進め方等を逐次報告するほか、委託業務の実施に当たって、事前に本県と十分協議を行うこと。
- ・ 委託期間中は、業務の経過全般を常に把握している専任の担当者（愛知県との連絡調整担当者）を置くこと。
- ・ 本仕様書に特に記載のあるものを除き、委託業務を遂行する上で必要となる一切の経費は、本契約に含むものとし、受託者が負担すること。
- ・ 委託業務の実施に当たり、使用する図表やデータ、画像、映像等の著作権・使用権等の権利については、受託者において、使用許可等を得ること（委託者が提供するものを除く。）。なお、これらを怠ったことにより著作権等の権利を侵害したときは、受託者は、その一切の責任を負うこと。
- ・ 委託業務の実施に当たり、障害や事故等の問題が発生したときは、本県に遅滞なく報告するとともに、速やかに誠実な対応を行うこと。
- ・ 受託者は、本業務に係る会計帳簿及び証拠書類について、本業務の終了した年度の翌年度から起算して5年間、委託者の求めに応じていつでも閲覧に供することができるよう保存すること。
- ・ この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて委託者と受託者が協議して決めるものとする。